



卒業証書授与式



3月1日（金）、京都府立宮津天橋高等学校の第2回卒業証書授与式を宮津学舎で挙行了ました。当日は宮津学舎と加悦谷学舎の卒業生 219名が一同に会し、宮津天橋高校第2期生として思い出の詰まった母校を巣立っていきました。

3年前、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により制限のある中で学校生活がスタートしました。多くの行事が制限され、想像していた日々とは違ったかもしれませんが、その中でも自分達ができることを模索し、高校生活を充実させようとする姿がありました。3年生になり、新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、学校生活の制限が緩和されたことで、文化祭や体育祭などの学校行事を中心に残りの高校生活を思いっきり楽しんでやるぞという姿を何度も見かけました。そして3月1日、一人ひとりが3年間積み上げてきた思い出を胸に卒業式を迎えました。

卒業生の晴れ舞台を祝福する吹奏楽部の演奏に合わせ、卒業生は学年部長、担任を先頭に自信に満ち溢れた表情で入場しました。

校長式辞では、「あなたたち2期生は本校の礎を築いた学年であり、学舎制導入で大きな成果を残した素晴らしい生徒です。これから歩もうとしている道は無限の可能性と夢に満ち溢れている一方で、荒波が待ち受ける厳しい社会でもあります。自分をしっかりと見つめ、青雲の志を持ってまっすぐに芯の通った生き方をしてください。」と卒業生のこれまでの活躍を称えとともに今後の飛躍を願う思いが込められていました。

在校生代表として宮津学舎生徒会長 白敷拓人さん（HR23）と加悦谷学舎生徒会長 今井光さん（HR22）が「どんな時でも私たちに寄り添い、明るい笑顔と大きな背中全体を牽引してくださる先輩と出会い共に過ごせたことに感謝の気持ちでいっぱいです。また、この宮津天橋という素晴らしい学校をつくりあげた皆さんなら、どんなことでも糧に変え、

自分を信じ、多くの場面で活躍できると確信しています。在校生一同応援しています。」と卒業生に向けて感謝と期待を込めた送辞を送りました。

卒業生代表答辞では、宮津学舎 東山綾さん（HR33）と加悦谷学舎 小林帆夏さん（HR33）から「これから社会に出ていく期待とともに不安な気持ちもある今、勇気を持って次の一步を踏み出していきます。高校生活で作った思い出の数々を忘れないように心に刻み、どんなに苦しいときも自分の信念を大切に、いつでも挑戦する気持ちを忘れません。周りの人と支え合いながら、自分で選んだ道を進んでいきます。」

と今後の希望に満ち溢れた言葉が述べられました。

式が終わり、各教室で最後のホームルームが行われました。卒業生達は担任から手渡された卒業証書を手、本校で過ごしてきた3年間を振り返りながら、これまで何度も一緒に喜んだり励まし合ったりした仲間やこれまで温かく見守ってくれた保護者等への感謝の気持ちを述べ、涙と笑顔に包まれながら高校生活の幕を閉じました。

卒業生達はそれぞれの道で大きく羽ばたいていきます。これから新たな出会いがたくさんあると思います。考え方の違いで仲間とぶつかってしまうこともあるかもしれませんが、しかし、たくさんの壁を越えて周りの人と協調しながら夢を叶えてください。また、宮津天橋高校で学んだ「全力で愉しむこと」を大切にして、自分の道を歩んでください。

最後に、保護者等・地域の皆様におかれましては、入学時から本学舎の教育活動に多大な御尽力をいただき誠にありがとうございました。



Safari (総合的な探究の時間) 最終報告会

2年生



2月2日(金)、2年生 Safari(総合的な探究の時間)で1年間かけて取り組んだ探究活動をポスター形式で発表しました。

まず、聴衆に向けて各グループの代表者が順番に30秒間で自分たちの探究活動の見所を紹介するショートプレゼンを行いました。その後、外部講師の方々や同級生、1年生などに探究の成果を発表しました。10月に行った中間発表で多くの外部講師の方々から御助言をいただいたこともあり、どのグループも探究内容に磨きがかかっていました。その後のフリーセッションでは、質疑応答にとらわれず自由に議論をし、興味・関心を持ったことについて率直な意見を交流し合い、互いに学びを深めることができました。外部講師の方々からは、「あちこちで生徒さん同士が議論している姿が素晴らしいと思いました。これまでやってきたという自信はこれからの人生にプラスに働くので探究活動で経験したことを絶対に忘れないでほしいです。」と発表者のみならず1年生にとっても励みとなる御講評を頂きました。最終報告会を通して、他者に興味を持ってもらえるように説明する力や他者と話し合いながら学びを深めていく力など様々な力を養う機会となりました。

多くの外部講師の方々には本学舎の探究活動に興味を持っていただき、様々なフィードバックを頂きました。誠にありがとうございました。

1年生



2月8日(木)に1年生 Safari(総合的な探究の時間)で2学期から取り組んできた「自分たちの住んでいる地域の課題をどう解決するか」について最終報告会を行いました。HR教室やアゴラ(開放型多目的教室)など6つの会場に分かれ、様々な外部講師の方々や同級生の前で発表をしました。11月に行った中間発表と比べ、地域課題の理解が深まったことで解決策がより具体的になり、どのグループも自信を持って発表をすることができました。また、質疑応答の時間では、外部講師の方々のフィードバックだけでなく、生徒同士が積極的に質問をし、互いに学びを深めることができました。外部講師の方々からは、「地元の方にインタビューを行うなど地元の人達を課題解決のために巻き込むことができたと思います。これからも、どんどん地域の人達を巻き込み、地元の声をどんどん探究活動に活かしてほしいです。」と今後に向けてのエールをいただきました。

この機会を通して、生徒は地域社会の課題や魅力を発見したり、多くの地域の方々との交流を通して、その価値観に触れ、自分自身の考えを深めたりすることができました。2年生になっても引き続き自分達の課題に取り組みたいと考える人も出てきており、非常に楽しみです。

当日に至るまで外部講師の方々、地域の方々には本学舎の探究活動の取組に沢山の御協力をいただきました。誠にありがとうございました。

天橋芸術祭 2023



2月9日(金)から11日(日)の3日間、宮津市民体育館で天橋芸術祭2023を行いました。前身である「美術・書道作品展」から数えると今回で29回目となります。宮津学舎・加悦谷学舎合同で実施し、両学舎の芸術科の授業作品をはじめ文化系部活動、建築科、小学生建築デザインコンテストの作品を展示しました。また、10日(土)には、音楽選択者(宮津学舎)・琴部(宮津学舎)・吹奏楽部(合同)・合唱部(加悦谷学舎)による発表を、11日(日)には、茶道部(加悦谷学舎)による呈茶を行いました。本校の生徒のみならず、地域の方々など1169名に御来場いただき、多くの方々に本校の教育活動を知っていただく機会となりました。本校は地域貢献・発展のために、引き続き励んでいきます。

第1学年百人一首大会



1月19日(金)、第1学年百人一首大会を実施しました。1年生全員が体育館に集まって実施するのは4年ぶりとなります。競技が始まると、各班かるたを囲んで座り、体を寄せ合いながらかるたを取ることに集中していました。決まり字でかるたを取っている人がいるなど練習してきた成果を思う存分発揮する白熱した大会となりました。

「昔から百人一首かるたが好きです。歌を覚えていたら下の句を聴かなくても札をとれる、他のかるたにはない楽しさがあります。大会に向けて、負けたくない、全力で頑張りたいという気持ちで必死に歌を覚えました。改めて全力で頑張る楽しさを実感できる機会となりました。」

個人優勝 小西菜々花(HR13)